

特定非営利活動法人 多世代交流ネットワーク協会

～e スポーツを通じた健康づくりの担い手を育成しました～

－令和7年度補助額（ファーストステップ）：76,023 円－

団体紹介



令和6年12月から特定非営利活動法人として、公民館等での高齢者のeスポーツ普及活動に取り組んでまいりました。中央区警固公民館では、毎年9月に開催される健康フェスタにおいて、eスポーツ体験として太鼓の達人やニンテンドースポーツボーリングを行っています。現在、中央区・南区・東区の社会福祉協議会と連携しながら、eスポーツボランティア養成講座を開催し、公民館及びサロンからの開催依頼が少しずつ増えている状況です。今後も福岡市での健康寿命の延伸に貢献してまいります。

補助事業概要

健康ゲーム指導士養成事業

福岡市の公民館において、健康寿命の延伸のための高齢者向けeスポーツの普及活動を行う中で、人材不足を強く感じ、健康ゲーム指導士養成講習会を開催いたしました。今回、47名が受講し、そのうち27名が医療従事者（理学療法士・作業療法士・鍼灸師・看護師・視能訓練士）でした。受講者は、病院施設等で従事しており、高齢者の健康リスクについて熟知されている方々でした。これまでの活動において、軽度認知症やパーキンソン等の疾患を抱えながら参加される高齢者も少なくないことから、即戦力となる心強いメンバーになるものと期待しています。今後、あすみん等でスキルアップ講座を重ねてあらゆる場面に対応できる健康ゲーム指導士の育成を進めることで、福岡市における健康寿命の延伸に貢献してまいります。



健康ゲーム指導士養成講座会場（6F講堂）



参加者の声

「養成講座でしたが、自分で開催するのはこれだけでは無理だなと感じました。お手伝いから入らせていただきたいです。」

「ボウリングの投げ方のコーチング方法・声かけ。接続方法は今日の講座だけでは習得できなかったなので、回を重ねる必要があるかと思った。」